

2026年度（令和8年度）福山市立東中学校 学校経営計画

学校教育目標

自ら考え主体的に生きる生徒

育成する資質・能力

課題発見・解決力

表現力

自他の尊重

自ら課題を見つけ解決する

自分の考えを他者にわかるように伝える

自分を高め他者を高める

- 1年生 ・既習の知識を活用して
- 2年生 ・論理的・批判的に
- 3年生 ・新たな課題の発見に向け

- ・分かりやすく整理して
- ・根拠に基づいて
- ・状況に応じて臨機応変に

- ・考え方が違う他者と
- ・共通の目的のために
- ・新たな価値の創造に向け

めざす授業の姿

疑問や考えを質問・説明し合う活動『学び合い』を通して、生徒全員が、考えを深めたり、広げたりしている。

研究主題

自ら考え、共に学び深め合う生徒の育成 ～生徒が主体を持つ協働的な学びを通して～

重点取組

1 小中一貫教育の推進

- 学区各小中学校における公開研究授業
- 「授業改善・ESD部会」と「特別支援教育・不登校ゼロ」の2部会

2 主体的・対話的で深い学びの推進

- 生徒が考えを深めたり、広げたりする『学び合い』
- 全教科で実施する「授業ポートフォリオ」
- 各種委員会による学力向上プロジェクト
- 学力調査（全国学テ、福山学力調査、英検IBA）を指標とした5教科の取組・検証・改善
- 基礎学力定着を目指す学習イベント
 - ・どんどんノート、復習テスト、スペリングコンテスト、ドリルコンテスト等

3 ESD(持続可能な開発のための教育)の推進

- SDGsをテーマとした系統的な「総合的な学習の時間」（ふるさと学習）
 - ・1学年 福山企業のSDGs学習、地域人材による職業学習
 - ・2学年 修学旅行（企業訪問）でのSDGs学習、職場体験学習
 - ・3学年 SDGsパネルディスカッション
 - ・全学年 文化祭でのテーマ別SDGs探究学習



4 豊かな心・健やかな体の育成

- 校内フリースクール「すっきりルーム」を中心とした不登校生徒への取組
- 生徒が主体的に考え実行する学校行事・部活動・学級集団作り・ルール作り
- 各種委員会による生活改善プロジェクト
- 文化祭における合唱コンクール
- 体力向上計画の作成・実施

5 信頼される学校づくり

- 保護者・地域と連携した学校運営協議会（コミュニティスクール）の実施
- 定時退校日と部活動休養日や5限目授業をできるだけ同一日に実施
- 不祥事防止にむけた教職員研修の計画的実施